

# レッスン 5 フォルダにデータが10件たまった時に処理を開始するには

## このレッスンでできるロボット レッスン5.bwnp

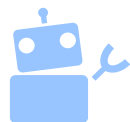
このレッスンでは、あるフォルダにデータが10件たまった時に処理を開始し、処理完了後に報告メールを送るロボットを作成します。具体的には、フォルダ内のファイル数を確認するロボットを作成しそのロボットをタスクスケジューラで定期的に行います。ファイル数は、ファイルリストを作成することで確認します。

| main | コマンド               | ターゲット画像 | 入力内容   | リトライ |
|------|--------------------|---------|--|------|
| 1    | ファイルリストの取得         |         | ターゲットフォルダ: D:\tmp<br>フィルタ - フォルダ: ファイル(File) |      |
| 2    | 分岐 開始 IfEval >>    |         |  |      |
| 3    | アラート               |         | メッセージ: ファイルが10件を超えたので処理...                   |      |
| 4    | コメント               |         | //登録処理をします                                   |      |
| 5    | メール送信              |         | //完了したらメール通知<br>本文 (固定文字列): 通知先各位            |      |
| 6    | 分岐 それ以外 << Else >> |         |  |      |
| 7    | アラート               |         | メッセージ: ファイルが10件以下なので待機...                    |      |
| 8    | 分岐 終了 << End-If    |         |  |      |

### ロボット作成

#### 1 ファイルリストの取得 で フォルダに格納されたファイル数を数える

|                  |   |                    |                              |
|------------------|---|--------------------|------------------------------|
| ターゲットフォルダ* (変数可) | 1 | ファイル数を確認したいフォルダを指定 | コマンドオプションへ<br>たとえば<br>D:\tmp |
| D:\tmp           |   |                    |                              |
| フィルタ - フォルダ      |   |                    |                              |
| ファイル(File)       |   |                    |                              |
| フィルタ - 拡張子 (変数可) |   |                    |                              |
|                  |   |                    |                              |
| 数 (Count)        | 2 | ファイル数を数えるを指定       | 数 (Count)                    |
| 変数内容/変数式         |   |                    |                              |
| @ファイルの数          | 3 | ファイル数を保存する変数名を指定   | たとえば<br>@ファイルの数              |
| 変数名*             |   |                    |                              |
| @ファイルの数          |   |                    |                              |



## 2,6,8 条件分岐(IfEval) で1で数えたファイル数が10以上か確認する

スクリプト\*

簡易入力(変数と値) | 簡易入力(変数と変数) | スクリプト入力

条件1  
@ファイルの数 >= 10

条件2  
=

1,2の関係  
両方とも満たす

☒ 変数の内容を数値として利用する

1 ファイル数を保存した変数名を指定

@ファイルの数



簡易入力 で直感的に変数の比較ができる

2 変数を数値とする を指定

3~4 10件たまった時に行いたい、お好みの処理を追加する

5 メール送信 で処理完了後の報告メールを送信する

送信先アドレス(To) (変数可)  
manager@example.com

送信先アドレス(Cc) (変数可)  
sys-member@example.com

送信先アドレス(Bcc) (変数可)

件名 (変数可)  
【メンバー登録ロボット】10件分の登録が完了しました

本文 (固定文字列)  
通知先各位  
メンバー登録ロボットは、10件分の登録処理を完了しました。  
※本メールは、メンバー登録ロボットによって送信されています。

1 報告メールを送信したいメールアドレスを指定

たとえば  
管理者宛て  
アドレス

2 作業完了文を指定



報告Excelを作成すれば  
処理結果も添付できる

10件たまったときだけ  
3~5が行われた



outlookメール送信 でも代用でき、環境にあわせて使い分けられる

7 10件たまっていない時に行いたい、お好みの処理を追加する

### タスクスケジューラ登録

1 タスクスケジューラで 作成したロボットを5分間隔で動かす登録をする

プログラム/スクリプト(P):

"C:\Program Files\NEC\RoboSol\RoboSolCLI.exe"

1 -l -e "作成したロボット名"を指定

引数の追加 (オプション)(A):

-l -e "D:\tmp\レッスン5bm"



詳細は やりたいことガイド 運用編  
「スクリーンセーバーが起動しないようにしたい」  
でご確認ください

5



フォルダ内のファイル数確認

